

常任委員会 こんなことを聞きました

経済建設委員会

資源ごみ交付金

Q 資源ごみ交付金の26年度と27年度での変動理由は。

A 26年度に資源ごみ地元交付金からコミュニティ推進協議会交付金の「まちをきれいにする活動加算」に変更した際に、資源ごみの交付対象期間や支払い時期を見直したことで、26年度の交付金が9カ月分の支払いになったためである。

水道事業会計決算

Q コスト削減の事例は。

A ① 量水器の修理調

達により、260万円余を削減した。

② 材質を変更し、口径150mmまでは、配水用ポリエチレン管を採用し、1170万円余、口径200mm以上は、GX型ダクタイル鑄鉄管を採用し、920万円余を削減した。

③ 国債等の債権運用を実施。運用益にて年間1100万円余の収益を確保した。

28年度補正予算

Q 震災対策農業水利施設整備の工事箇所は。

A 愛知用水東浦支線で、知北平和公園の西で、500m整備予定である。

Q 道路新設改良工事の詳細は。

A 豆搗川河川改修の護岸工と矢板の購入に係る費用である。



▲豆搗橋改修工事（石浜）

文教厚生委員会

高齢者福祉事業

Q 高齢者社会参加推進事業委託料は。

A 65歳成人式の企画・運営業務の委託で、地方創生先行型交付金を受け、新規事業として実施した。

Q プール等施設利用券が廃止となり、マイレージ事業での実施状況は。

A プラザ等施設利用券の交付数は、3570枚で、プラザが2564枚、東部知多温水プールが910枚の計3474枚で、利用率は97.3%である。

子ども・子育て支援

Q 認可外保育事業の委託先は。

A 夢ハウスめぐっこ保育園、アロハキッズ、根っこクラブ、そびあ保育園の4施設である。

Q 新事業の、ごもとの親の相談事業の内容は。

A 窓口や専用フリーダイヤル「子どもと親のほっとライン」を設け、月曜から金曜の9時から16時まで受け付けている。

糖尿病性腎症重症化予防事業

Q 事業の内容は。

A 糖尿病性腎症の医療機関未受診者へ、受診勧奨や栄養・口腔指導を行い、人工透析への移行を防止、医療費の削減を図るものである。

28年度補正予算

● 石浜老人憩の家耐震
改修工事の追加は設計段
階で分からなかったの
か。

▲ 今年度の工事で、コ
ンクリートを削った時に
分かったものである。

● 元気な愛知の市町村
づくり補助金の対象は。

▲ 本町が進める学習支
援コーディネーター事業
が新規で採択された。

景品について
景品の交換はできません。
(ただし1人5名/年以内)
カード1枚(100P達成)毎に以下の景品が1つ選ばれます。

① プール等施設利用補助券 (150P達成7回分) 使用期限 H29.3.31まで
利用できる施設等
あいち健康プラザ遊水プール・トレーニング施設
あいち健康の森遊水ホールの海
楽館遊水プール

② うちら健康回数券 (1枚あたり)
③ 各種健康グッズ (※入用状況により変更される場合や在庫がない場合があります。)
④ 家庭マッサージグッズ ・ハンドグリップ ・腰ブラセット ・キャップ (ぼうし)
・ソフトバランスポール (直径20cm) ・万歩計 ・肩トレドドリル
・Tシャツ ・自立体力トレーニング本 ・カロリースタビリティ(健康補助食品) … など

⑤ 「障害者就業助成くすのび」の贈品セット。(マフラータオル、竹炭ふくくる等)
⑥ あいちちゃんグッズセット (マフラータオル等)

⑦ 町内運動教室利用券 ※景品は変更する場合があります。

Wチャンスあり!
100P達成したチャレンジカードを1枚提出する毎に、抽選で町特産品などの景品当たる「Wチャンス」に応募となります。

景品
東濃町の特産品を中心に取り揃えた素敵な景品を準備します。
チャレンジカードを提出する際にお好きな景品の
コースを選んで応募してください。

抽選日 平成29年2月8日 (予定)
当選者 厳正な抽選の上、応募者の30% (最大100人) の方へ希望コースの
景品を送付いたします。
※抽選は景品を揃えてから抽選1回です。景品カードより希望コースが異なる場合は最初に当選したカード
の景品させていただきます。

お問い合わせ:東濃町健康課(保健センター) ☎83-9677 Fax83-9678

平成28年度 東浦町
高齢者いきいきマイレージ
～10年後の元気のために 健康づくりと介護予防～
自然の恵みを浴び、自分自身で健康維持したい。健康と生活習慣を改善し、健康づくりや介護予防への
取り組みを応援する「高齢者いきいきマイレージ」を創設します！ポイントを集めて自由に景品
を手に入れましょう！

「マイレージ」の参加方法

① 下のチャレンジカード
を切取り、ポイント
を貯めます。
ポイントを貯める期間
4月1日～12/31日

② マイレージの貯めかた
チャレンジカードを保
健センターに提出して
「チャレンジ達成表」と
引き換ええます。
※マイレージの貯めかたは景品交換まで
(1景品 年間1回まで) 引換期間 H29年1月31日まで

③ Wチャンス!!
途中で提出したチャレンジ
カード1枚につき100P
のチャンスがあります。
抽選日 H29年2月8日(予定)

※1枚目のチャレンジカードの提出時に「あいち健康づくりの応援カード」もプレゼント！
景品交換したい「あいち健康づくりの応援カード」を保健センターで景品交換したい場合は、保健センターへお問い合わせください。景品交換は景品交換期間内までです。
(http://www.pnet.aichi.jp)

平成28年度 東浦町 今年のチャレンジは 何回ですか
性別 男・女
生年月日 年 月 日 生 ()
住所 町 丁目 番 号
電話番号 () -
チャレンジ達成表 引換期間 平成28年12月31日まで
Wチャンス応募 希望コース

▲27年度から始まった、いきいきマイレージ



庁舎建替え

● 新庁舎建替えは、い
つ頃を考えているか。

▲ 現庁舎は昭和43年建
築で、鉄筋コンクリート
の一般的な耐用年数であ
る60年を考慮すると、平
成40年頃を考えている。

国勢調査

● 調査員数は。また、
前回との大きな変更点
は。

▲ 247人である。
変更点は、パソコンや
スマートフォンで回答で
きるオンライン調査が導
入されたことである。

総合ボランティアセンター

● 総合ボランティアセ
ンターの相談およびコー
ディネーターの内容は。

▲ 相談内容は、ボラ
ンティア依頼や活動の希
望に関すること等であ
る。

● コーディネーターでは、
運転、託児、施設レクリ
エーション等である。
ふるさと寄附

● 総額件数、平均単価、
人気のあつた返礼品は。

▲ 総額は2億3031
万5001円、件数は1
722件、平均単価は13
万3700円である。
人気のあつた返礼品
は、黒毛和牛、カリモク
の家具、知多牛であった。



▲町役場本庁舎 (緒川)

町民税

● 個人住民税が増え、
法人町民税が減っている
要因は。

▲ 個人住民税は、給
与所得者のうち約4割
が、業績が好調な大手
自動車メーカー関連企業
に勤めており増収で、法
人町民税は、税率の改正
により減収となった。

災害協定

● 災害時におけるスー
パーなどの店舗との協定
状況は。

▲ 「イオン」をはじめ
とする町内の店舗や
「コープあいち」と、可
能な範囲内で、食糧、飲
料水等の供給をいただく
協定を締結している。

27年度一般会計決算

賛否討論

※要約しています。

賛成

至誠会 前田明弘 議員

27年度一般会計決算は、歳入総額では、146億8482万円余に対して、歳出総額では、139億716万円余である。前年度決算との対比では、歳入で3億2967万円余、2・3%増。歳出では、1億7746万円余、1・3%の増であった。

一般会計決算規模が前年度に比べて拡大していることは、行政当局の努力の成果として評価する。

プライマリバランスが11億8260万円余の黒字であり、町債発行に頼らず税金などの収入によって賄われていることも、資金運用が順調に行われていることとし、評価できる。

歳入決算額については、特に寄附金における「ふるさと寄附事業」の採用による大幅歳入増である。新規策の採用が功を奏しており、財源確保の新事業として、期待する。

歳出決算額については教育費として、小中学校の体育館天井等の改修工事が行われた。各地域の避難場所として、児童生徒および教職員の安全確保のみならず、地域住民の安全確保にも寄与しており、教育事業と防災事業の連携として絶賛できる。

今後も、メリハリのある、より重点志向の強い行財政運営を期待する。

また、行政評価と予算管理により連携・連動したマネージメント体制が確立されることを要望し、賛成討論とする。

賛成

公明党東浦 秋葉富士子 議員

27年度一般会計の形式収支は7億7767万円余の黒字であり、形式収支から翌年度繰越財源4044万円余を差し引いた実質収支は前年度に比べ、29・5%の増加で7億3720万円余の黒字であり、5億5千万円を財政調整基金に繰り入れ、財政の健全化が図られていると考えられる。

主な施策として、安心、安全でよりよい保育園、小中学校の環境整備等のための保育園施設、小中学校施設の整備事業、健康寿命の延伸、介護予防の支援のための高齢者いきいきマイレージ事業がある。

また、南海トラフ巨大地震の発生が懸念される中、災害時等の電源を確保するための非常用発電機整備事業、夜間通行時の安心感を高めるためのLED防犯灯の設置工事、住民の憩いの場・地域の防災拠点ともなる三丁公園の整備事業、市街地における雨水排水対策のための雨水施設整備および管理事業などが挙げられる。

これらは、これまで公明党が予算要望してきた事業内容も含まれ、評価する。

今後も安心、安全なまちづくりの更なる推進、少子高齢化に対応した更なる行財政改革をお願いして、賛成討論とする。

反対

日本共産党 東浦町会議員団 平林良一 議員

27年度一般会計決算は、法人町民税の税率引き下げにより税収が減っている。企業優遇の減税では景気は良くならない。

消費税の増税で地方消費税交付金が2億3千万円余増えているが、個人消費の冷え込みにつながる消費税に頼る仕組みになっている。

個人番号制度が開始され、住民の納税状況と健康面、生活面の個人情報管理が連結される恐れがある。今後もセキュリティ向上に多額の経費が掛かる。

税の滞納整理のために県が取り立てを応援する機構が作られたが、生活困窮者には分割納入や減免制度を適用した滞納整理を求める。

保育士の中途退職者が多いのは激務の割には給与が低く、長時間勤務で家事との両立が難しくなっているため、待遇改善を求める。

土地区画整理組合設立準備委員会への補助金が無駄にならないように、設立準備の段階こそ慎重に、誠意をもって進めるよう役員を指導すべきである。

町独自の学力検査は個々の学習到達度が分かり必要と行政、教育長は考えているが、教職員の多忙化を解消し、部活などの教育以外の時間を減らすなどで教員が個々の学習到達度を把握できるようにすべきである。

以上の点から27年度一般会計決算の認

決まりました! 主な議案

平成28年第3回東浦町議会定例会 議員別審議結果一覧表

平成28年9月23日採決(同意については、平成28年9月7日採決)

議案番号等	議員名 議案名	至誠会						公明党 東浦	日本共産党 東浦町会 議員団	幸福 実現党	高志 会	創生 会	無所属 小	無所属 成	無所属 長	議決結果
		山下 享司	西尾 弘道	向山 恭憲	前田 明弘	三浦 雄二	水野 久子	米村 佳代子	秋葉 富士子	平林 良一	杉下 久仁子	原田 悦子	田崎 守人	小松 原英治	小田 清貢	
同意 3	教育委員会委員の選任	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意 (全員賛成)
認定 1	27年度一般会計決算の認定	議	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	認定 (賛成多数)
認定 2	27年度国民健康保険事業特別会計決算の認定	議	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	認定 (賛成多数)
認定 3	27年度土地取得特別会計決算の認定	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定 (全員賛成)
認定 4	27年度後期高齢者医療特別会計決算の認定	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定 (全員賛成)
認定 5	27年度下水道事業特別会計決算の認定	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定 (全員賛成)
認定 6	27年度水道事業会計決算の認定	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定 (全員賛成)
議案 40	東浦町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定	議	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	原案可決 (賛成多数)
議案 41	東浦町勤労福祉会館条例の一部改正	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全員賛成)
議案 42	28年度一般会計補正予算(第2号)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全員賛成)
議案 43	28年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全員賛成)
議案 44	28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全員賛成)
議案 45	工事請負契約の締結((仮称)三丁公園休憩所新築工事)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全員賛成)
意見書案 2	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	議	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	原案可決 (賛成多数)
意見書案 3	国民健康保険に係る国庫負担金の減額算定措置の見直しを求める意見書	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (賛成多数)

【表の凡例】 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成議員、●は反対議員

意見書提出 ※要約してあります

定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

子どもたちが全国どこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。しかし、三位一体改革により、義務教育費国庫負担率の引き上げは、2分の1から3分の1に引き下げられたままであり、自治体の財政は逼迫されている。教育の機会均等と水準確保のために、義務教育費国庫負担率の堅持とともに、国庫負担率を2分の1へ還元することも、国が果たさなければならぬ大きな責任の一つである。

よって本町議会は、平成29年度の政府予算編成にあたり、定数改善計画の早期策定・実施と、義務教育費国庫負担率の堅持とともに、国庫負担率2分の1への還元をむけて、十分な教育予算を確保されるよう強く要望する。

提出先 内閣総理大臣 他

国民健康保険に係る国庫負担金の減額算定措置の見直しを求める意見書

国民健康保険に係る国庫負担金のうち、療養給付費負担金の減額算定措置により、子ども医療費などを現物給付方式で実施している地方自治体では、国保に係る国庫負担金のみが減額されており、財政運営上の大きな支障となっている。

「一億総活躍社会」に向けて政府全体として少子化対策を推進する中、本町議会においても、国会及び政府に対し、乳幼児・子ども医療費助成を始め、自治体が単独で行う福祉医療制度が地域住民の福祉に大きく貢献している実態を踏まえ、国民健康保険に係る国庫負担金の減額算定措置が地方自治体の取り組みを阻害するものであることから、その見直しを要望する。

提出先 衆議院議長 他